



KOOV

for Enterprise

創造力育成のための
ロボット・プログラミング学習キット

学校向け



www.koov.io/enterprise



KOOV アドバンスキット

市場想定価格 49,880円+税

302ピース

24の電子パーツ

ロボットレシピアや学習コースを存分に楽しめるよう、ブロックと電子パーツの全種類*を揃えたオールインワンキットです。

*2019年5月時点



KOOV スターターキット

市場想定価格 36,880円+税

172ピース

16の電子パーツ

初心者でも手軽に楽しめるよう、ブロックと電子パーツをシンプルな構成にしたキットです。

*2019年5月時点



KOOV ベーシックキット

市場想定価格 24,880円+税

100ピース

11の電子パーツ

より多くのお子さまが KOOV での学習を楽しめるよう、ブロックと電子パーツをコンパクトな構成にしたキットです。

*2019年9月発売予定

追加
セット

KOOV 拡張パーツセット*

市場想定価格 21,880円+税

* 拡張パーツセット単独では利用できません。
スターターキットと拡張パーツセットの2つで
アドバンスキットに相当します

●KOOVは株式会社ソニー・グローバルエデュケーションの登録商標あるいは商標です ●Bluetooth®ワードマークとロゴは、BluetoothSIG, Inc.の所有であり、株式会社ソニー・グローバルエデュケーションはライセンスに基づきこのマークを使用しています ●ブロックの構造に関する知的財産に関しては株式会社アーテックからのライセンスを受け使用しています ●画面は合成です ●画像は開発中のものであり、変更される可能性があります

製品仕様

モデル名称	必要なもの	アプリ動作環境*1	コア(本体)との通信方式	パッケージ外形寸法 幅/高さ/奥行	質量	ピース ブロック+付属パーツ	電子パーツ コア(本体)を含む
KOOV アドバンスキット				約344×174×172 (mm)	約2.3kg	302	24
KOOV スターターキット	単3形アルカリ 乾電池3本(別売) プラスドライバー(別売)	Windows(64bit)/ mac/iPad/ Chrome OS 最新版	USB 2.0 Bluetooth®4.0 (Bluetooth Low Energy) *2*3	約171×174×172 (mm)	約1.3kg	172	16
KOOV ベーシックキット				約324×57×172 (mm)	約0.8kg	100	11
KOOV 拡張パーツセット	-	-	-	約171×174×172 (mm)	約1.0kg	130	8

*1 対応する OS バージョンや、利用可能な機種などの情報については KOOV サービスサイトを参照ください。なお、すべての端末との接続を保証しているものではありません。

*2 Bluetooth® ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、株式会社ソニー・グローバルエデュケーションはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

*3 Bluetooth® 対象機種および制限については KOOV サービスサイトを参照ください。

お問い合わせ

株式会社ソニー・グローバルエデュケーション 法人専用窓口

メール edu-support@sonyged.com

ソニー・グローバルエデュケーションと KOOV

人工知能を筆頭にテクノロジーが急速に発展し、人間の仕事がコンピュータに置き換えられようとしています。このような社会背景もあり、新しい時代に相応しい教育とは何かが改めて問われています。例えば、日本の大学入試では、答えの決まったテストで良い点数を取った人が入学できるという方針から、一人ひとりが個性を発揮して、その人にしかない能力を評価するという方針に変わりつつあります。これからの時代の教育は、多様な価値観を持ち、自発的に学び、創造的かつ積極的に行動する、テクノロジーと共生できる人材を育てる教育であるべきです。

ソニー・グローバルエデュケーションは、次世代の教育の基盤づくりを志向し、テクノロジーを活用した教育分野のイノベーションの実現に挑戦してきました。KOOVはその考え方をもっとも現しているプロダクトの一つです。カラフルなブロックを組み立てながら、プログラミングで動きを与え、一人ひとりが違う「かたち」をつくれることをコンセプトにしています。試行錯誤を繰り返すことでいろいろなアイデアが生まれ、創造的な考え方を育てていく教材です。答えが一つではない課題に対して、一人ひとりが個性的な答えを出し、それが評価される社会になりつつある今、子どもたちにはできるだけたくさんの課題を与え、早く失敗してもらおう。そして失敗から多くを学んで次の成功に繋げる、そんな創造性と「やり抜く力」を KOOV により身につけてもらいたいと願います。

株式会社ソニー・グローバルエデュケーション
代表取締役社長 磯津 政明

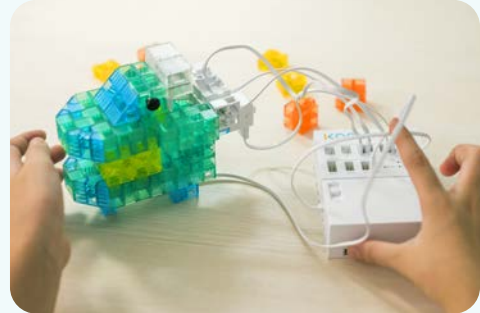


クーブ KOOV[®]ってなに？

KOOVとはブロックで自由な「かたち」をつくり、「プログラミング」によってさまざまな「動き」を与えて学ぶ、ロボット・プログラミング学習キットです。

1

ブロックで「かたち」をつくる

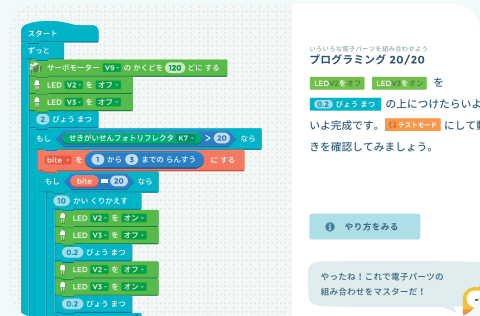


シンプルなデザインのブロックと動きや表現のもととなる電子パーツ。それらの立体的な組み合わせにより多種多様な「かたち」をつくりだすことができます。



2

プログラミングで「動き」を与える



専用のKOOVアプリは、子どもたちが直感的に理解できる「ビジュアルプログラミング」を採用。プログラムをロボットに転送し、反応を見ながら試行錯誤を重ねることで、思い通りの動きを与えることができます。



3

自由な発想で「ロボット」をつくる



「かたち」と「動き」によって生まれる「ロボット」たち。模倣から徐々に理解を深め、自らの自由な発想で作品をつくり出せるよう、KOOVがしっかりサポートします。



KOOVを利用するには

KOOVアプリに対応しているデバイスおよびインターネット接続が必要です。対応デバイスについてはヘルプセンターを参照ください。

[ヘルプセンター <https://www.koov.io/help>]

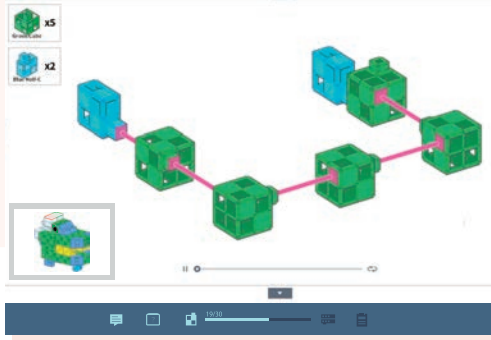


単3形アルカリ乾電池3本とプラスドライバーが必要です。

「ロボットレシピ」で気軽に制作できる

お手本となる作品集を真似することでロボットプログラミングをすぐに始められます。少しずつ難易度を上げて思い通りのロボットをつくる練習をしていきましょう。

3D組立ガイド



構造を理解しやすい 「3D組立ガイド」

複雑な作例でも、角度を変えたり、拡大・縮小したり、構造を理解しながら組み立てていくことができます。

「学習コース」で楽しく学べる

ロボットプログラミングに必要な知識や技術を基礎から学べるのが、KOOVの学習コース。学んだことを確認するクイズやミッションをクリアするとバッジが手に入る機能など、子どもたちが自主的に学びたくなる楽しい仕掛けが満載です。

段階的に学べる仕組み

学習進捗が一目でわかるイラストマップを採用。与えられたミッションをクリアしていくと、ロボットプログラミングの知識を学ぶことができます。



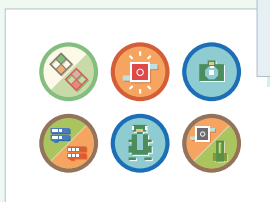
1枚のバッジをゲット



ボタンと光センサーの組み合わせ



各種バッジ例



学習効果を高める機能

学習内容を振り返る確認クイズや、ミッションをクリアすると獲得できるバッジが子どもたちのやる気を高めます。

導入事例

小学校・中学校の事例をご紹介します。

社会 「昔の道具・未来の道具」

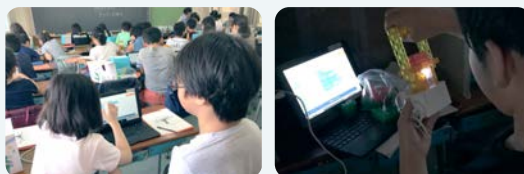
千代田区立九段小学校 (小学3年生)



暮らしの変化を学習し、昔と比べて道具が便利になっていることを学びました。この学習から、さらに便利になっていくと考えられる未来の道具をKOOVで表現し、発表しました。KOOVの使い方は、アプリに登録されているロボットレシピを通して事前に学習しました。

総合 「未来の思いやり製作所」

文京区立湯島小学校 (小学5年生)



学習コースを使ってLEDライトを点滅させるプログラミング制御を体験してから、学習コースに入っている「ランタン」を制作しました。制作したランタンが「人のため」に機能するように光センサーとLEDライトの制御プログラムを考え、発表しました。

理科 「動くデジタルアート Project」

宝仙学園小学校 (小学5年生)



自分たちでつくった KOOV 作品と映像作品、お手製プロジェクターを使ってプロジェクションマッピングに挑戦しました。KOOV 作品は、まず学習コースを使ってプログラミング方法など KOOV の使い方を体験してから作品を制作し、映像作品に合わせた動きになるようプログラミングを考えました。

技術家庭 「身の回りにおけるプログラミング」

聖光学院中学校 (中学3年生)



学習コースを使ってさまざまな電子パーツの制御方法を体験してから、身の回りにおけるものを題材にチームで作品を作成しました。手を動かし試行錯誤しながらプログラミングとデザインだけでなくチームビルディングまで総合的に体験しました。

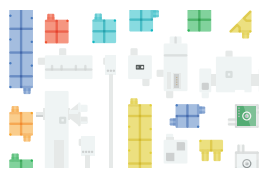
アカウント管理システム



生徒一人ひとりの進捗管理機能

KOOV for Enterprise では、生徒一人ひとりの学習状況を先生が簡単に把握できます。生徒がどこまで学習を進めたか、どのようなロボットをつくったかを確認できます。

サポート



ブロックや電子パーツの追加購入

紛失してしまったパーツや追加で必要なパーツは、簡単に購入することができます。